



時を守り、場を浄め、礼を正す

5月 全校集会 「愛の言霊」

言霊とは、日本人に古くから伝わる言葉に対する考え方や概念です。昔から言葉には魂やエネルギーが宿ると考えられてきました。現代でも映画や小説、漫画、アニメ、ゲームなどで、言葉の力を使うキャラクターが登場しますね。

今日は私たちが使う言葉の持つ力についてお話しします。
では、言葉（言霊）にはどのような力があるのでしょうか。

① 言葉（言霊）は【アイデンティティ（自分らしさ）を作る】

言葉は私たちのアイデンティティ（自分らしさ）を形作ります。普段使う言葉遣いは自分自身の人間性を表す鏡です。日頃から誠実で思いやりのある言葉、丁寧な言葉を使いたいですね。攻撃・威圧・侮辱・からかいなどの言葉は自分に返ってきます。

② 言葉（言霊）は【癒しと傷つけの力がある】

言葉は癒しの力を持つ一方で、人を傷つける力もあります。自分が選んで使っている言葉が相手の心にどのような影響を与えるかを想像してください。小学生の時に聞いたことがある、「ぼかぼか言葉とチクチク言葉」選んで使っていますか。

③ 言葉（言霊）は【共鳴する】

私たちは言葉で気持ちや考えをお互いに伝えあいます。愛、優しさ、感謝、励ましの思いがこもった言葉（言霊）を使うと、その言葉に込めた思いは、相手に共鳴して自分に返ってきます。温かな魂のこもった言葉（言霊）の共鳴（連鎖）は、相手や仲間との絆を深めます。

5月の修学旅行、自然体験教室、矢立セミナーでは、仲間と一緒に活動する時間がたくさんあります。様々な交流を通して、温かな言葉（言霊）が共鳴し合う充実した活動になるといいですね。

私は、毎朝正門で聞く、皆さんからの「おはようございます」から、癒やしとエネルギーをもらっています。「今日も一日がんばるぞ」という気持ちになります。本当に感謝です。

言葉は、私たちのコミュニケーションにおいて、重要なツールです。自分の言葉に責任を持って自分の気持ちを伝えてください。

温かな言葉（言霊）の共鳴は、みんなが安心して生活できる居心地のいいクラス、学校を創ります。

令和6年5月1日

富士宮市立富士宮第一中学校 校長 山崎 匡史

新入生オリエンテーション 4月8日(月)

新入生を迎え、生徒会が中心となり先輩である3年生、2年生が、新入生に中学校の委員会活動、部活動などの紹介を行いました。新入生は、いよいよ中学校生活が始まります。



学級委員任命 4月12日(金)

クラスの代表となる学級委員が任命されました。



安全教室 4月16日(火)

交通安全指導員さんにご指導いただきました。



避難訓練 4月17日(水)

万がーに「備え真剣に取り組みました。



◎スクールカウンセラー

八木 義人(やぎ よしひと)さん

来校日 5月16日(木) 21日(火)

6月6日(木) 13日(木) 21日(金)

28日(金) 7月4日(木) 9日(火)

◎不登校対策支援員

砂原 田江子(すなはら たえこ)さん

◎スクールソーシャルワーカー

別府 政行(べっふ まさゆき)さん

※御遠慮なく学校にお問い合わせください。